

科目名	電気回路Ⅱ			担当教員	一色弘三		
学年	電子制御3年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	専門	授業形式	講義	科目番号	07C03_30090		
学習目標	電気回路Ⅰで得た基礎知識，すなわちフェーザによる交流定常解析法の習熟を図る。そして，交流回路における共振回路，磁気結合回路，2ポート回路，過渡現象について学び，課題演習を通じて現象の理解を深める。						
進め方	各学習項目ごとに，学習内容を講義し例題解法の解説を行う。各授業の終わりの短い時間を使って小演習を行うことがある。小演習は採点し，次の授業時に返却する。年間4回程度のレポート提出を課す。						
履修要件	特になし						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. ガイダンス，複素数(2) 2. 正弦波交流のフェーザ表示(2) 3. フェーザ表示による回路解析(2) 4. 複素電力(2) 5. インピーダンスブリッジ(2) 6. 重ねの理(2) 7. テブナンの定理，ノートンの定理(2) ----- 8. 前期中間試験(1) 9. 試験問題の解答(2) ----- 10. インピーダンスの周波数依存性(2) 11. ベクトル軌跡(2) 12. 直列共振(2) 13. 回路の良さ(2) 14. 並列共振(2) 15. 前期末まとめ(2) ----- 16. 前期末試験(1) ----- 17. 試験問題の解答と授業アンケート(2) ----- 18. 電磁誘導現象，コイル(2) 19. 相互誘導(2) 20. 磁気結合回路(2) 21. 磁気結合回路の等価回路(2) 22. 理想変成器(2) 23. Z行列，Y行列(2) 24. h行列，F行列(2) 25. 後期中間まとめ(2) ----- 26. 後期中間試験(1) ----- 27. 試験問題の解答，F行列の応用(2) ----- 28. 定常現象と過渡現象(2) 29. RL回路の過渡現象(2) 30. RC回路の過渡現象(2) 31. 交流印加の場合の過渡現象，総まとめ(2) ----- 32. 学年末試験(1) ----- 33. 試験問題の解答			フェーザを用いた正弦波定常状態の解析を修得する。 D1:2, D2:1-2  代表的なブリッジ回路の解析法を知る。 重ねの理，テブナンの定理など重要な定理を用いた回路解析を修得する。 D2:1-2  インピーダンスの周波数依存性をベクトル軌跡を用いて表現できる。 D2:1-2 共振回路における現象および性質について理解する。 D2:1-2  磁気結合回路に対して回路方程式を立てることができる。 D2:1-2  2ポート回路の各種パラメータの物理的意味を理解し，その応用について知る。 D2:1-2  過渡現象を理解し，ラプラス変換による解析が行える。 D2:1-2			
評価方法	定期試験80%，平常点（レポート，演習，出席率）20%で総合的に評価する。						
関連科目	電気回路Ⅰ，電子回路Ⅰ，制御工学Ⅰ，電気磁気学Ⅰ						
教材	教科書：西巻正郎 他著 「電気回路の基礎（第2版）」 森北出版 その他，必要に応じてプリントを配布する。						
備考	履修単位						